

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況(腸管病原菌含)

検出菌 ウイルス	2019年																		2020年	
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月 ~3日	11月 ~10日	11月 ~17日	11月 ~24日	12月 ~1日	12月 ~8日	12月 ~15日	12月 ~22日	12月 ~29日	1月 ~5日
カンピロバクター	56	46	78	65	87	128	102	107	157	62	14	11	15	9	23	26	18	17	7	3
病原性大腸菌	85	81	77	69	51	59	51	37	85	46	13	7	10	11	3	12	5	10	9	0
腸管出血性大腸菌	0	0	0	0	0	0	0	1	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
サルモネラ	5	3	11	6	3	11	5	12	18	9	4	3	2	4	7	2	1	0	3	0
黄色ブドウ球菌 MSSA	10	9	12	13	14	24	11	17	15	8	2	2	4	2	7	4	6	4	5	0
黄色ブドウ球菌 MRSA	22	16	22	14	11	12	18	12	15	10	4	2	1	3	1	3	0	3	3	2
腸炎ピブリオ	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	1	0	0	3	1	2	4	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0
ロタウイルス	2	3	2	9	4	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	0	0	1	0	1	3	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
ノロウイルス	23	23	11	11	2	5	0	1	1	0	0	1	3	2	0	1	6	8	4	0

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和2年第1週(12月30日~1月5日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	0	発生なし	0							
三類	0	発生なし	0							
四類	1	レジオネラ症	1					1		
五類全数	0	発生なし	0							

注) 西部…大竹市, 廿日市市, 府中町, 海田町, 熊野町, 坂町, 安芸高田市, 安芸太田町, 北広島町, 江田島市
東部…三原市, 尾道市, 世羅町, 府中市, 神石高原町
西部東…竹原市, 東広島市, 大崎上島町
北部…三次市, 庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

第1週は、定点医療機関が年末年始休診のため、各疾患の増減の評価及び「定点把握感染症報告状況」(下表)の発生記号の表示を行っていません。

・インフルエンザは、学校が冬休みに入り報告数は少なくなっていますが、例年、学校が始まると急激に患者が増加するため、再び流行が拡大すると予測されます。

・インフルエンザの感染経路には飛沫感染と接触感染があります。飛沫感染とは、感染した人の咳やくしゃみの飛沫に含まれるウイルスを、他の人が吸い込むことによる感染です。接触感染とは、感染した人が咳やくしゃみ、鼻水などのついた手でドアノブなどに触れ、その場所を触った他の人が、さらにその手で口や鼻に触ることにより、ウイルスが体内に入る感染です。インフルエンザの感染予防には、これらの感染経路を断つことが重要です。流水・石けんによる手洗いは、インフルエンザウイルスを手から除去するために有効な方法であり、感染症対策の基本です。外出先からの帰宅時など、こまめに手を洗いましょう。

感染症情報等の詳細は以下のホームページ(広島市感染症情報センター)を参照してください。
<http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号
小児科	インフルエンザ	232	9.28	6.53			小児科	流行性耳下腺炎	-	-	0.59		
小児科	咽頭結膜熱	2	0.13	0.31			眼科	RSウイルス感染症	2	0.13	0.51		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	12	0.75	1.16				急性出血性結膜炎	-	-	0.03		
	感染性胃腸炎	33	2.06	4.71			基幹	流行性角結膜炎	-	-	0.65		
	水痘	5	0.31	0.42				細菌性髄膜炎	-	-	-		
	手足口病	1	0.06	0.17				無菌性髄膜炎	-	-	0.06		
	伝染性紅斑	1	0.06	0.44				マイコプラズマ肺炎	-	-	0.23		
	突発性発しん	3	0.19	0.12				クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-		
	ヘルパンギーナ	-	-	0.02				感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.14		

急増減 前週と比較しておおむね1:2以上の増減

増減 前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減

微増減 前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減

横ばい ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	25
小児科定点数	16
眼科定点数	3
基幹定点数	6

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■ 全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
4	レジオネラ症	1	1	女性(80歳代)

■ 新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	発熱(39.0) 咽頭炎 鼻炎	1	女	2019/11/25	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型
インフルエンザ	発熱(39.0) 咽頭炎	54	男	2019/11/26	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型
インフルエンザ	発熱(41.0) 鼻炎	6	女	2019/12/01	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型
インフルエンザ	発熱(40.3) 鼻炎	5	男	2019/12/03	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型
感染性胃腸炎	嘔吐 下痢	24	女	2019/11/29	糞便	ノロウイルスG II
突発性発しん	発熱(40.0) 紅斑	8	女	2019/11/29	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型
ヘルパンギーナ	発熱(39.0) 紅斑	7	女	2019/11/26	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA10型 ライノウイルス
その他の呼吸器疾患	発熱 上気道炎	4	男	2019/11/29	鼻汁	ライノウイルス

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載